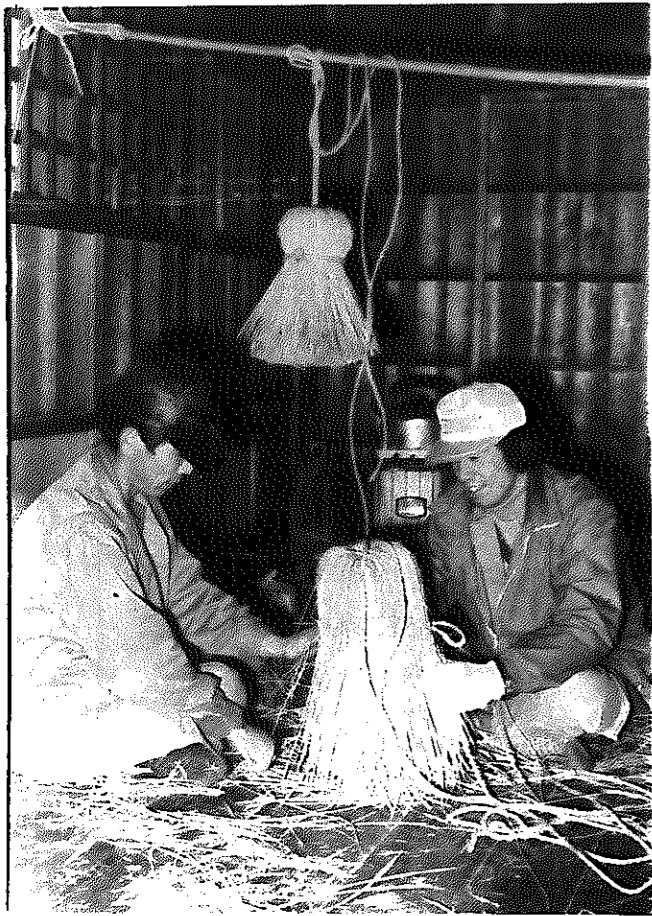




伝 統 を 受 け 継 ぐ

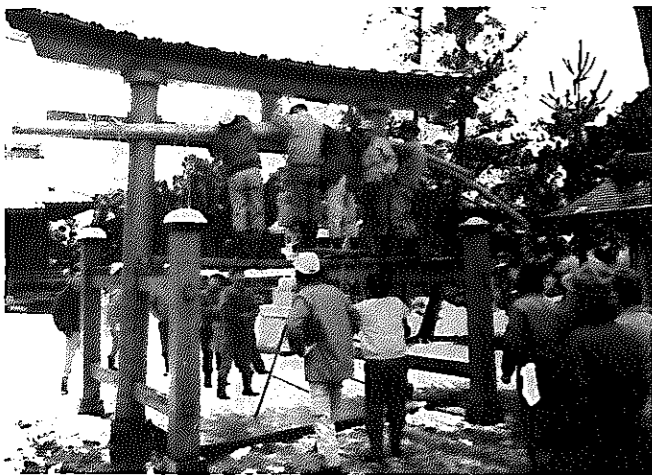
戸石新田八幡宮の しめ縄作り



しめ縄に下げる三このツンボリと呼ばれる房を作る。先輩の指導のもと、若者の目は輝く



作業をはじめて4時間、次第にしめ縄らしい形になり、完成まであとわずか



できあがったしめ縄を鳥居に。笑顔がこぼれる



かけ声にあわせ、わらの束を打ちながら細縄を力いっぱい巻いていく。汗だくの作業が続く

戸石新田の部落は、約90年前まで、いまの信濃川堤防の内側にあったという。

暮れも押し迫ると、村の若衆はわらを持ち寄り、八幡宮（この部落では親しみをこめて八幡様と呼ぶ）に集まる。わらをしごいてつやを出し、3組に分かれて1本ずつできばえを競い合って縄を編む。熱のこもる力仕事だ。

最もよくできた1本は、青竹を入れて端の方をねじ曲げ、「龍」を形作る。3本を束ね3つの房をつけて完成、鳥居に取りつけられる。役目を終えた古いしめ縄は、若衆にかつがれ、勢いよく信濃川へ投げこまれた。と、古老は当時を懐かしそうに語ってくれた。

戸石新田部落全部が、現在の場所に移り、八幡様もこの地に移った。青年たちが減り、しめ縄作りは老人たちを中心に行われる。いまは12月の最後の日曜日に作られ、古いしめ縄は川に流さず、境内で焼かれる。禍神（まがみ）を追い払うという願いをこめて、200年以上も続けられている伝統行事だ。

すべて八幡様を中心に部落は動くという。子どもたちも八幡様の境内で育った。部落自慢の八幡様である。

おたのしみ

二か年の成果を発売 表—国語科研究会

十一月二十六日、新飯田小学校（浅間幸一校長）で、「確かな表現力を育てる国語科の指導」をテーマに、二か年にわたって実践研究した成果を発表する、国語科研究会を開きました。この日は、下越地区の先生ら約百八十人が参加し、公開授業を見てまわりました。児童たちの生き生きとした学習ぶりに、先生方も注目していました。



本物の火災発生にビックリ—日消防署長
火災予防運動期間中の十一月二十九日、白根地区消防本部では白根高校二年生七人を招き、「一日消防署長、署員」を行いました。



生徒たちは、消防業務や無線設備などの説明を聞いたあと、訓練礼式の点検を行いました。ポンプ操法訓練に入ろうとしたとき、本物の火災発生時の通報が届き、署員は素早く出動。生徒たちは、署員のきびきびした動作に感心していました。

災害時の心理について—防火講演会

「災害が起きたら、あなたはまず何から……」。災害時の心理についての防火講演会が、十一月十五日、産業厚生会館で開かれました。この日集まった市民は約百八十人。みんな熱心に聞き入っていました。



赤塚さん・長谷川くんが 準特選—防火ポスター

白根地区消防事務組合管内の小学六年生を対象に防火ポスターを募集、五百四十八点の応募がありました。十一月二十八日に審査会が行われ、市内からは次のみなさんの作品が入選しました。

- なお、入選作品は市内の各小学校や、スーパーマーケットなどに掲示、防火を呼びかけます。
- 【準特選】赤塚奈穂子（白根小）
- 長谷川正弘（大郷小）
- 【金賞】小池美奈子（大郷小）
- 【銀賞】河野洋輔（白根小）
- 竹内 毅
- 池田 休（以上戸石小）



意見・要望を交換 嘱託員連絡会議

十二月一日、産業厚生会館で嘱託員連絡会議が開かれました。新潟女子短大の浅妻康二教授による「コミュニティと町内会」と題しての講演や、市への意見、要望などを交換しました。また、永年勤続嘱託員に感謝状、交通共済募集優秀地区に表

彰状が贈られました。
【永年勤続嘱託員】大竹 清さん（能登） 丸山作司さん（東笠巻新田）
【交通共済募集優秀地区】新飯田、茨曾根、小林大郷、鷲巻地区



元気に育てよとマブナ・鯉の稚魚を放流

このほど、信濃川漁協白根支部がマブナの稚魚五千匹、鯉の稚魚八千匹を中の口川に放流しました。これは、魚が減ってきていることから、人工ふ化したマブナや鯉の稚魚を放流し、魚の数を増やそうと、毎年行っているもの—元気に育てよというものです。

